



徳島大学

歯学部たより

Tokushima University Faculty of Dentistry

第5号 2019.4.1



ようこそ 徳島大学 歯学部へ

歯学部長

宮本 洋二

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

徳島大学歯学部は、1976年に四国で唯一の歯学部として設置されました。以来、人間性豊かな歯科医師、歯科衛生士を養成するとともに、先端的な歯科医学の研究を行い、歯科医学と口腔保健学の発展に貢献する人材育成を行ってきました。歯学部には6年制の歯学科と4年制の口腔保健学科があり、超高齢社会に対応できる歯科医療と福祉の高度専門職を養成しています。歯学科では、①患者中心の全人的医療を理解し、歯科医師に求められる世界水準の知識と技能を有する、②地域社会のニーズに対応できる能力を備え、③

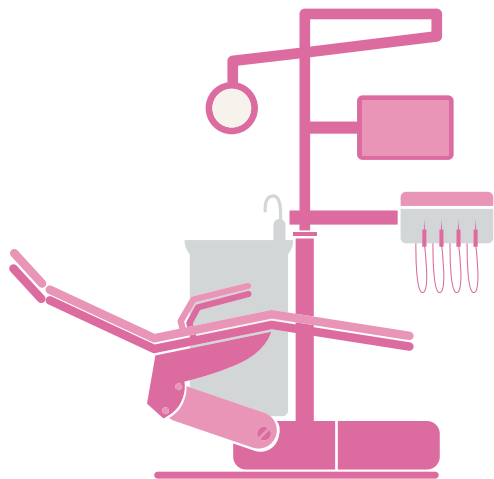
CONTENTS

- 1 学部長挨拶
- 2 歯学部での学び
- 3 新入生担任紹介
各学年担任紹介
- 4 学生生活の注意
キャンパスライフ
- 5 国際交流
- 6 附属図書館紹介
病院の動向
サークル紹介
- 7 退任教授挨拶
研究紹介
- 8 掲示板

幅広い教養と高い倫理観を持ち、そして④患者及び他の医療者と適切な人間関係を確立する能力を有する歯科医師を育てることを目的としています。口腔保健学科では、①口腔保健・福祉の専門的知識と技能を有し、②チーム医療や保健福祉活動の一員としての役割を果たす能力を備え、③慈しみと思いやりの心を持って患者さんやその家族、スタッフと接することのできる医療と福祉従事者の養成を目的としています。卒業時には歯科衛生士と社会福祉士の2つの国家試験の受験資格が得られます。

歯科医療人としての態度、技能は、生物学や医学、材料学の基盤があつて、はじめて習得できます。そのため、1年次には学びの基礎となる一般教養科目を学び、基礎・臨床歯学を理解するための基盤を形成します。その後、専門的な歯科医療の知識・技能・態度の習得が始まります。患者さんに安心・安全な歯科医療を提供するためには、当然、医学的知識も必要となり、実際に患者さんの診療を行う診療参加型臨床実習と並行して、隣接医学を学びます。歯学部では卒業時に修得しなければならない能力(コンピテンス)を明示し、皆さん一人一人が学習目標を立てやすいカリキュラムを策定するなど、学習者中心の教育体制の構築を行っています。また、本学部では、学部学生の短期海外留学を積極的に支援しています。またインドネシア、フィリピン、韓国、中国、フィンランド、チリから短期留学生を受け入れ、一緒に学習することによって、広い視野を持つ機会を設けています。さらに留学する学生と留学生をサポートするために International Friendship Room (IFR) を設け、外国人教員を配置しています。

私たち教員は、皆さんが歯科医学を学ぶお手伝いをします。しかし、主体は皆さんです。知識だけでなく、いろいろなことに柔軟に対応ができる能力を身につけてください。4年後、6年後に皆さんが地域に貢献し、そして世界で活躍できる歯科医師、歯科衛生士、社会福祉士として歯学部を巣立つことを楽しみにしています。



歯学部での学び

歯学部教務委員会委員長／口腔顎顔面形態学分野 教授 馬場 麻人



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ここでは歯学部での教育について紹介したいと思います。

さて本学歯学部においては、平成29年3月に発表された新しい歯学教育モデル・コア・カリキュラムに対応して、少しずつ改訂を行っており、我々教務委員会でもこれまで以上に倫理観、医療安全、チーム医療、地域包括ケアシステム、健康長寿社会などといった要素を取り入れた教育を検討し、新しいプログラムを始めています。そして歯学科と口腔保健学科が協力して「多様なニーズに対応できる歯科医師・歯科衛生士・社会福祉士の養成」を目標とし、さらには、医歯薬学部が共存する蔵本キャンパスの特性を生かし、複数医療職によるチーム医療を意識した教育を構築しています。実際に蔵本キャンパスでは、各学部の1年次と3～4年次に合同の演習セミナーを開催しています。

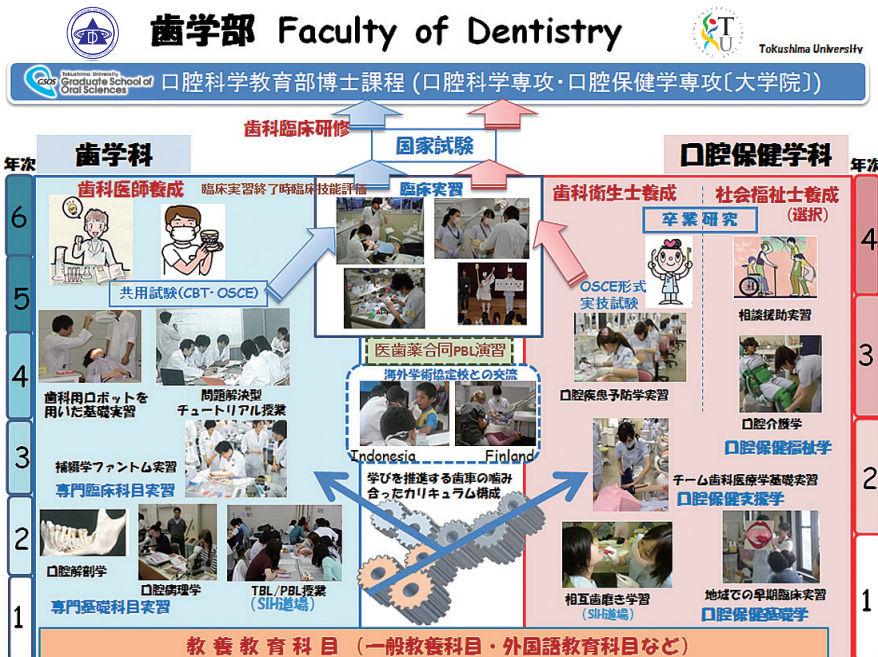
下図に歯学部の卒業までのカリキュラムを示します。まず、我々が皆さんに身につけてもらいたいことが、自ら学ぶ姿勢とコミュニケーションの力です。この入口として、徳島大学では「SIH (Strike while the Iron is Hot) 道場 ～アクティブラーニング入門～」という、課題演習、質疑応答、振り返り、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなどを取り入れたプログラムが入学直後に設定されており、以降の専門課程の学びに備えます。

歯学科では1年次～2年次前期の教養教育課程の後、2年次後期から基礎医学科目、歯科臨床科目を講義・実習を通して学びます。そして5年次前期には臨床実習に進むための関門として、全国共通に行われる共用試験（CBT：PCを用いた基礎学力試験および、OSCE：客観的臨床能力試験〈診

療室での態度・実技に関する〉）を受験し、合格基準に達すれば、Student Dentistの称号が与えられ、5年次後期から臨床実習に進みます。実習中は徳島大学病院内だけではなく、地域包括医療の一環として学外の高齢者施設などでも実習を行います。また昨年度に臨床実習終了後技能試験がトライアルの形で実施されましたが、皆さんの時には本格実施がされているでしょう。そして最終的には歯科医師国家試験を受験し歯科医師免許を得るのですが、その後に最低1年間の研修医期間を経る必要があります。研修先は本学病院を含め6年次の8月ころからマッチングによって決めていくことになります。

一方、口腔保健学科では、1年次から教養科目以外に専門基礎科目の教育が始まり、学年進行とともに口腔保健・福祉に関する知識や技術を学びます。さらに臨床・臨地実習（地域の諸施設を含みます）によって歯科衛生士としての知識・技術・態度を成熟させ、卒業研究において専門性を高めます。口腔保健学科においては歯科衛生士に加えて、選択科目の履修により社会福祉士の国家試験受験資格も得ることが出来ます。さらには両学科とも、大学院に進むことでより専門性の高い研究を行う機会が提供され、学位（博士、修士）を得ることでキャリアアップを目指すこともできます。

学生時代は思いのほか短いですが、同期の仲間と親交を深め、教員を始め、諸先輩方を大いに活用し、様々なコミュニケーションの中で少しでも多くのものを吸収し、実りある生活を送ってください。



新入生担任紹介

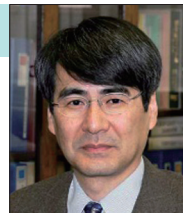
歯学科 1年担任 **吉村 弘**

ご入学おめでとうございます。皆さんはここに一堂に会するわけですが、これは偶然ではなく必然の結果ではないかと私は考えています。クラスのメンバーがお互いに影響しあって成長していくことを心より願っています。



歯学科 1年担任 **市川 哲雄**

私は、本学部1期の卒業で、歯科補綴学（義歯）、高齢者歯科学、口腔インプラント学を担当する分野にいます。久しぶりの担任で、少し緊張しておりますが、皆さんの学生生活が有意義となるように、担任としてサポート・応援できればと思っております。



口腔保健学科 1年担任 **尾崎 和美**

これから4年間、担任として皆さんの学生生活を見守り、支援していききたいと思います。ダブルライセンスの取得を目指して日々勉学に勤むのが基本ですが、医療人としては勿論、人間としての成長を楽しみにしています。



口腔保健学科 1年担任 **柳沢志津子**

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからの4年間で、口腔保健学と社会福祉学の興味や知識を深めてほしいと思います。皆さんが意欲的に学習活動に取り組むことができるよう、サポート、応援します。



各学年担任紹介

歯
学
科

2年



藤猪 英樹

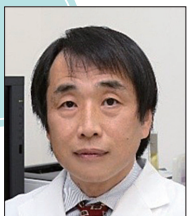


湯本 浩通

3年



山本 朗仁



菅田 栄一

4年



馬場 麻人



宮本 洋二

5年



浜田 賢一



岩本 勉

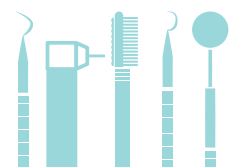
6年



吉本 勝彦



河野 文昭



口
腔
保
健
学
科

2年



松山 美和



坂本 治美

3年



白山 靖彦



藤原奈津美

4年



日野出大輔



竹内 祐子

学生生活の注意

歯学部学生委員会委員長／口腔分子生理学分野 教授 **吉村 弘**



大学生になると環境の変化に加えて自由度も一気に増しますが、さまざまな危険に遭遇する機会も増えます。カルト系集団や反社会的集団は皆さんの善意を利用して巧みに勧誘してきます。マインドコントロールされないよう注意が必要です。また、悪質商法に利用されないためにも安易に個人情報を提供しないようにしてください。危険ドラッグ等についても薬物乱用の恐ろしさを認識して良識ある行動に努めてください。ストーカー被害に遭ったり性犯罪に巻き込まれたりすることもありますので、危険を感じたら警察等に相談し、大学にも連絡してください。これらのことに十分注意して、皆さんの学生生活が快適で充実したものになることを願っています。

キャンパスライフ

歯学科

1
年次



佐藤 幹也

1年生では大学生活にも慣れ学業は勿論、部活に励む者やアルバイトに専念する者もいます。大きなイベントとしては11月には蔵本祭があり、出店した部活もありとても満足した大学祭となります。

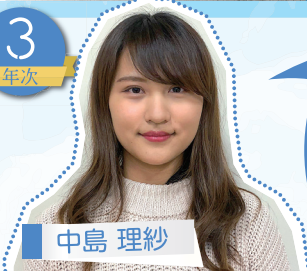
2
年次



松林 拓身

2年生は前期で教養科目を終え(取りこぼしもありますが…)、後期から専門科目が始まります。数々の難易度の高い講義・試験の連続ですが、新しく入った編入生を含め全員で力を合わせて進級しましょう。

3
年次



中島 理紗

3年生の後期には、細胞・マウスを用いた実験や、論文検索の方法を学ぶ研究基礎ゼミがあります。研究室の中には、研究について学会で発表をすることもあり、これまでの座学とは異なった学びを得ることができます。

4
年次



前田 晃伴

4年生ではファントム実習が始まり、実際に模型の患者を相手に口腔内の治療だけでなく、義歯などの補綴物まで作ります。これから歯科医師になっていくということを以前よりも実感し、多くのことを学ぶことができる1年間です。

5
年次



桃原 光平

5年生は、卒前臨床実習にて診療見学・介助の他、個々に担当された症例を1年間で担当することで知識・臨床推論能力・技能・態度を習得し、患者さんのご厚意と病院スタッフの支援、そして(時に厳しい)Dr.の親身の指導に感謝しつつ、多忙ながらも実り多き日々を送ります。

6
年次



高畑 紫乃

5年生の9月まで病院実習を行い、治療の実践見学、介助をします。教員指導のもと、実際に治療を行うことにより、社会人としての歯科医師像が明確になります。課題も多く大変な病院実習が終わると、3か月後には国家試験です。

口腔保健学科

1
年次



丹下 梨子

1年生は、常三島キャンパスで教養教育、蔵本キャンパスで解剖学や社会福祉などの専門科目を学びます。アルバイトの時間を多く確保でき、友人との付き合い、サークル活動、アルバイトなど充実した日々を過ごすことができます。2年生から本格的に専門科目の授業や実習が始まり忙しくなるので、1年生の間に様々なことにチャレンジするのがおすすめです。

2
年次



小林 聖

2年生では、歯科衛生士になるための専門的な講義が増えたり実習が始まったりします。特に前期は隣接する徳島大学病院で実際の診療を見学する早期臨床体験実習、後期はファントムを用いて行う基礎実習があります。

3
年次



栗本 実奈

3年生では、前期に専門科目の授業と基礎実習があり、後期からは臨床実習が始まります。大学病院や診療所、保健センター、高齢者施設、障害者支援施設など、様々な現場での実習を通して、より多くの知識・技術を習得することができます。

4
年次



太田 瑞希

4年生では、臨床実習に加えて就職活動や卒業研究等、様々な課題に取り組みます。忙しい毎日ですが、クラスのみんことや先生方の支えで乗り越えることができます。後期からは国家試験対策が本格化し、みんなで励み合いながら合格を目指します。

国際交流

インドネシア留学記

歯学科

松本 晋・金城 聡一郎
前田 晃伴・松田 はるか
川西 毅

私たちはムハマディア大学ジョクジャカルタ校への短期交換留学プログラムに参加しました。プログラム期間中、チュートリアルや臨床実習への参加、大学病院や保健所の見学を通してインドネシアと日本との共通点や違いを学ぶことができました。また、放課後や休日にはショッピングモールやダウンタウンへ食事や買い物に出かけ現地学生との交流を深めたり、ポロブドゥール寺院や宮殿、博物館を訪れ現地の文化や生活習慣への理解を深めたり、有意義な2週間を過ごすことができました。



インドネシア留学記

口腔保健学科

加納 摩璃子

私は、2018/3/19～3/29にインドネシアのガジヤマダ大学(UGM)の短期歯学プログラムに参加しました。プログラムでは、九州大学の方と共に現地の病院見学、高齢者や歯学に関する授業を体験しました。また、インドネシアの文化や現地の方の温かさに触れ、かけがえのない経験をすることができました。



フィンランド留学記

口腔保健学科

天羽 紗生・北原 優良
佐原 久美子・嶋吉 咲
田村 真里奈・阪野 夏美

3 私たちは、2018/8/17～8/26の10日間、ヘルシンキメトロポリア応用科学大学に短期留学しました。同大学での臨床実習現場の見学や、セミナーへの参加、さらにヘルシンキの高齢者施設を訪問し、フィンランドの先進的な福祉を学びました。また、現地の学生や先生方と交流を深め、フィンランドの文化も学ぶことができ、有意義な時間を過ごすことができました。



インドネシアからの短期留学



Dila Rahmanida・Jihan Nadhirah N.・Ilham Nugraha S.・Rizqi Alifna W.P.

4 Student Exchange Program gave us a lot of new experiences. We learned a lot from great sensei and we met a lot of new friends. We also got a chance to experience Japanese culture such as tea ceremony, kimono wearing and Tokushima traditional dance called Awa Odori. Such a great way to learn Japan better. We enjoy every moments here in Tokushima, maybe that's why time flies so fast. We will miss this city and its people. Thank you for this unforgettable experiences!

フィンランドからの短期留学



Susanna Nässi

5 I wanted to come to Japan to observe and make my own notes and opinions about Japanese way of life and Japanese people. In Europe, I think, we have very idealized picture of far and mysterious Japan. And of course I wanted to learn about Japanese health system and dentistry. Because of my background in Art History I am extremely interested in unique art of Japan, aesthetics, sense of forms and architecture. To visit Japanese garden was one of the dreams of my life.



附属図書館紹介

分子薬理学分野 教授 **吉本 勝彦**



教員・図書館員・大学院生らによる「学習に関する相談」(Study Support Space)、「レポートの書き方講座」、「英語多読ラリー」(本館)や授業に必要な図書等を各授業科目に即して案内する「授業サポートナビ」(蔵本分館では図書を2冊ずつ配架)など多くの学修支援を行っています。また普通に会話できるラーニング・コモンズやタッチディスプレイ「BIG PAD」を備えたグループ学習室(予約制)も好評です。さらに文献検索講習・データベース講習を含めた情報探索能力を向上させる支援も実施しています。このように大学図書館は「学部の壁を越えた知の拠点」であり「落ち着いて滞在し交流できる場」です。ぜひ活用してください。

2019年 病院の動向

徳島大学病院副病院長(歯科担当) **北畑 洋**
 歯科麻酔科学分野 教授



徳島大学病院/蔵本キャンパスの再開発も最終段階に入り、今年2月にはメディカルストリート開通式が行われ大学病院と県立中央病院の駐車場共有化が始まりバスの乗り入れが予定されるなど、総合メディカルゾーンの充実が期待されます。西日本ファーマシーなどの調剤薬局やローソン、展示室が入ったシンボリックな福利厚生棟を病院敷地内に建設中で、その中を病院と歯科棟の連絡通路が通る予定です。また4月から医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士、薬剤師、管理栄養士、理学療法士を含めた多職種の連携による周術期管理センターが新たに立ち上がり、周術期口腔ケアやマウスプロテクター作成など歯科診療部門の役割がますます重要になることを目指しています。

サークル紹介

準硬式野球

助言指導教員 **岩本 勉** 教授
 責任者 **金城聡一郎**

硬式庭球

助言指導教員 **宮本 洋二** 教授
 責任者 **藤田 創詩**

ソフトテニス

助言指導教員 **山本 朗仁** 教授
 責任者 **大和 皓介**

サッカー

助言指導教員 **田中 栄二** 教授
 責任者 **大口 達也**

バレーボール

助言指導教員 **中西 正** 准教授
 責任者 **澁谷 一広**

バスケットボール

助言指導教員 **馬場 麻人** 教授
 責任者 **原田 直季**

ゴルフ

助言指導教員 **河野 文昭** 教授
 責任者 **松木 優承**

歯科研究会

助言指導教員 **伊藤 博夫** 教授
 責任者 **岡田 智成**

剣道

助言指導教員 **石丸 直澄** 教授
 責任者 **細田 朋弥**

柔道

助言指導教員 **河野 文昭** 教授
 責任者 **妻鳥 壮佑**

弓道

助言指導教員 **丹黒 章** 教授
 責任者 **藤本 果南**

卓球

助言指導教員 **香美 祥二** 教授
 責任者 **佐原久美子**

サークル NEWS

柔道部



第50回全日本歯科学生総合体育大会(柔道部門)無差別級と73kg級でそれぞれ優勝(個人)、準優勝(個人)、第34回中国四国医科学生柔道大会66kg以下級で1位(個人)を獲得しました!

バレーボール部



第50回全日本歯科学生総合体育大会(バレーボール部門)で準優勝しました!

退任教授挨拶

歯科保存学分野 教授 松尾 敬志



若いあなた方へ伝えたいこと “おまけの人生を生きる”

ご存じの方もおられると思いますが、私は大学で山岳部に所属し、山登りに勤んできました。そして、それが高じて最終的には遠征隊を率いてパキスタンはカラコルム山脈、未踏峰サンゲマルマール峰（7050m）に登りました。何故そこまで山が好きだったのか、今でもよくわかりませんが、当時は山へ登ることが人生の目的だったことは事実です。初登頂に成功したのは30歳のときで、それはそれで人生最高の幸せを味わったのですが、しかしそれ以降は目標がなくなっていました。



決して生きる意欲を失ったというわけではないのですが、命を懸けてまでやるのがもうありませんでした。一方で、切羽詰まるというか、追い詰められるという心境になることがないため、ある意味、心に余裕がありました。確かに教授選であるとか人生の岐路に立つことはありましたが、「別に死ぬわけでもなし」という、どこかシニカルな気持ちが心の片隅にありました。おまけの人生という感じです。

結果的にこの気持ちがその後の人生において功を奏したと思

われます。皆様にも経験があると思いますが、勝負事や賭け事で余裕がなくなると良くない結果を招きやすいものです。

私は「おまけの人生」観のおかげで大過なく今日まで過ごしてきたというわけです。しかし一方、もし山へ登らなければ「一体私の人生は何だったのだろうか？」と自問する羽目になるところでした。その意味で図らずも良い人生を送ってこれたということになります。

若い時分に無謀にも命を賭し、たまたま得られた人生観を手本になどと、とてもではありませんが言うこともできませんし、またお勧めもしません。しかし今思うことは「何をしに、何のために生まれてきたのだろうか」という強迫観念にも似た思



いが、断続的にはありますが死ぬ間際まで続く可能性のあることです。人生百年時代といわれる今、一度立ち止まって考えるのも良いかと思います。必ず自問するその時が来ることでしょう。その時、自分が納得できる答えを持つのは、幸せを感じて生きて行く、長い人生の礎になることでしょう。これが今、若い皆様方にお伝えしたいことです。

研究紹介

未病へ挑む：予防歯学のチャレンジ

予防歯学分野 教授 伊藤 博夫



予防歯学分野では、病気が生じてからの治療法ではなく、発症しにくくするために健康力を高める方法（疾病の第1次予防）として、免疫力と酸化ストレスに対する抵抗力に関する研究を行っています。また発症しても自覚症状が現れる前の、ごく初期の段階で発見するため（第2次予防）の唾液の検査に関する研究を行っています。

適切な放射線利用

歯科放射線学分野 教授 菅田 栄一



顎関節症の画像診断学的研究、歯科放射線学の教育に関する研究ならびにX線検査の適正化に関する研究を行っています。とりわけ、X線検査には最近、防護の適正化のための診断参考レベル（Diagnostic Reference Level; DRL）の適応という概念が導入されています。検査の質を落とすことなく、被曝の低減を図るためのもので、歯科領域への利用を模索しています。

“口腔保健を支援”する研究・事業の推進

口腔保健支援学分野 教授 尾崎 和美



当分野では、文字通り“口腔保健”を“支援”するための研究活動を様々な視点から展開しています。具体的には口腔感染症の予防・治療に寄与する基礎・臨床研究や、歯周疾患の病因・病態の解明を目指した先進的な研究を進めています。また一昨年から、医療・介護連携の視点から地域高齢者の口腔保健を支援するICTシステムの構築と、普及を目指した実証研究にも取り組んでいます。

寄附者のご紹介 平成30年3月1日～平成31年2月28日

ご支援、誠にありがとうございました。

医療法人 めまたデンタルクリニック 理事長 沼田 昌宏 様

徳島大学歯学部
教育研究基金へ
ご協力をお願い

「徳島大学歯学部教育研究基金」は、2016年の創立40周年を機に創設されました。ご寄附をいただいた方には、この歯学部だよりにご芳名を掲載させていただきます。20口（一口5,000円）以上の方は校舎に掲示させていただきます。詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/dent/donation.html>

学生実習用の顕微鏡が新しくなりました！

皆様からの40周年基金により微生物学実習、組織解剖学実習、病理学実習で使用する光学顕微鏡を購入させていただきました。「観察すること」は患者様を「診る」ことの第一歩です。優秀な医療人の育成に向けて多くの学生が大切に使用させていただきます。



「人 地域をはぐくみ 未来をつくる」徳島大学の挑戦を応援してください！

徳島大学は今年、創立70周年を迎えます。これを機に、「創立70周年記念事業基金」を設け、講演会などの記念事業のほか、キャンパスの環境整備、教育・研究・社会貢献事業を推進します。未来を創造する徳島大学の実現に向けて、皆様からのご支援をお願い申し上げます。

詳しくはホームページをご覧ください。
https://www.tokushima-u.ac.jp/anniversary_70th/



人事異動

	※日時	※分野	※職名	※氏名	※内容
□ 転出 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)	平成31年 3月31日	口腔外科	講師	玉谷 哲也	退職
	平成31年 3月31日	歯科保存学	教授	松尾 敬志	定年退職
□ 昇任 (平成30年4月1日～平成31年4月1日)	平成30年 4月 1日	口腔外科	講師	大江 剛	昇任
	平成30年 4月 1日	歯科放射線科	講師	前田 直樹	昇任
	平成30年 4月 1日	口腔保健衛生学	講師	福井 誠	昇任
	平成31年 4月 1日	口腔外科	講師	栗尾 奈愛	昇任
	平成31年 4月 1日	口腔保健教育学	准教授	吉田 賀弥	昇任

受賞一覧

年月	受賞名	受賞者	年月	受賞名	受賞者
平成30年 5月	40th Asia Pacific Dental Congress Outstanding Oral Presentation Finalist Award	Junhel Dalanon	平成30年11月	50th Congress of the International Society of Pediatric Oncology Poster Award	中村 美紀
平成30年 5月 (5月30日-6月1日)	39th Conference of the International Association for Human Caring 39th IAHC Shirley C. Gordon Shared Vulnerability Award	Junhel Dalanon	平成30年11月	第77回 日本矯正歯科学会大会 優秀ポスター賞	Khurel Ochir Tsenduren
平成30年 6月	Allergic contact dermatitis caused by titanium screws and dental implants JPR Best Paper Award (Original Article 部門)	細木 真紀	平成31年 2月	第11回 義歯ケア学会学術大会 優秀口演賞	岩脇 有軌
平成30年 7月	平成30年度 日本骨代謝学会研究奨励賞	日浅 雅博	平成31年 2月	AOSC (Association of Orthodontists (Singapore) Congress) Poster Competition Research Winner	Islamy Rahma Hutami
平成30年 7月	第53回 四国歯学会例会ポスター発表 最優秀発表賞	松田はるか	平成31年 2月	平成30年度康栄賞	藤猪 英樹 湯本 浩通 新開 瑞希 藤多 睦
平成30年 8月	先端歯学スクール2018 最優秀賞	大塚 邦紘	平成30年 9月	第29回 近畿・中国・四国口腔衛生学会 最優秀ポスター賞	河野 りか 宮脇 真衣
平成30年 8月	第27回 硬組織再生生物学会学術大会 優秀発表賞(口演)	Resmi Raju	平成31年 3月	第1回 日本オープンイノベーション大賞 選考委員会特別賞	宮本 洋二
平成30年 9月	第48回 公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会 優秀研究発表賞	秋田 和也	平成31年 3月	平成30年度学生表彰	Khurel Ochir Tsenduren Resmi Raju 中山慎一郎 松林 拓身 妻鳥 壮佑 バレーボール部
平成30年 9月	未来博士3分間コンペティション 優秀賞	Khurel Ochir Tsenduren			
平成30年10月	平成30年度 徳島県科学技術大賞 若手研究者部門	大島 正充			
平成30年10月	第31回 日本放射線腫瘍学会学術大会 優秀教育展示賞	工藤 隆治			
平成30年11月	IADR Travel Award: International Association for Dental Research Hatton Award Finalist	天真 寛文			

広告募集 「歯学部だより」では広告を募集しています。1枠(縦5cm×横9cm)2万円から。詳細は下記までお問い合わせください。
[徳島大学歯学部総務係：TEL.088-633-7940 / E-mail. isysoumu2k@tokushima-u.ac.jp]